

# 駒籠小学校の理科の授業で地層の見学をしました



建設監督官

10月14日(木)、大石田町立駒籠小学校の6年生5名が、鳥木沢南地区道路改良工事(東北中央自動車道工事現場)の現場を訪れ、地層の学習(理科)を行いました。駒籠小学校のみなさんは昨年も地層の学習に来てくださいました。当出張所に在駐する建設監督官が工事監督を担当する現場です。地層の説明を行い、実際に見て触れて学習していただきました。

この箇所  
の地層を  
見学



工事箇所全景



「とても長い時間をかけて層が重なっていきます」



地層をスケッチ

- 下にある層ほど古い地層です(下から順に見ていきます)
- 下から堆積物(たいせきぶつ)の粒が細かくなっていく→海が深くなっていった
- 下から堆積物の粒が大きくなっていく→海が浅くなっていった
- 示準化石がある→堆積した年代がわかる(例えば、三葉虫は古生代、アンモナイトは中生代など)
- 示相化石がある→堆積当時の環境がわかる(例えば、アサリは浅い海、シジミは河口や湖などの淡水など)
- 凝灰岩(ぎょうかいがん)の層がある→堆積当時、近くで火山活動があった

地層はまず、がけや道路のわきなど、地層の断面が地表に露出しているところ[露頭(ろとう)といいます]を観察します。露頭に、化石を含む層があるか(堆積当時の環境や年代を知る手がかり)、火山灰や軽石を含む層があるか(堆積時代に近くで火山活動があったかがわかる)を調べます。

露頭以外の地層は地面の下にかくれている部分がほとんどなので、ボーリング調査をし、地質柱状図に表したりもします。

また、地層を見たら、「かぎ層」を探しましょう。かぎ層とは、広い範囲に分布した特徴のある岩石の層(化石を含んだ層など)で、遠い場所にある2つ以上の地層の上下関係や広がりを知る有力な手がかりとなります。



この層の土はどんな感触かな？



みんなが今立っている黒い土は亜炭層といいます



亜炭層は、木が土に埋もれたあと、石炭化がまだあまり進んでいない層です。

Q. なぜ地層の色が違うのですか？

A. 地層は長い年月をかけて堆積した土や砂などです。何万年という間には、川であったり森林であったりとまわりの環境も変化し、堆積する土の種類も異なってきます。色が違うのは、堆積した時代の違い、つまり土の種類が異なるからです。

ちなみに、赤く見えるところは土が酸化したせいです。

## 駒籠小学校のみなさん、ぜひまた見学に来てください

道路に関するご意見・質問、出張所通信の感想など  
 どんどんお寄せ下さい！

国土交通省 山形河川国道事務所 尾花沢国道維持出張所

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syuchu/obaiji/index.html>

〒999-4221  
 山形県尾花沢市尾花沢字田町143-1  
 TEL. 0237-23-2521  
 FAX. 0237-23-2523



9月の出張所通信

10-1. 国道13号事故危険箇所合同点検実施